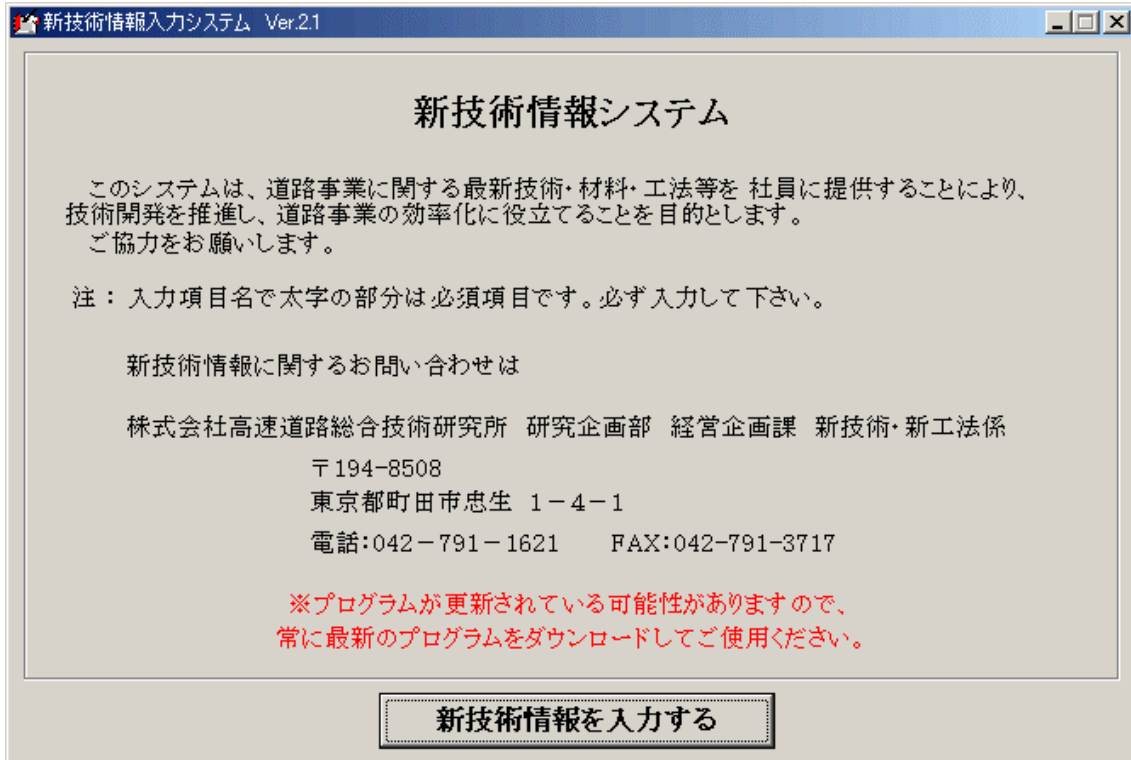


新技術業者入力用プログラム Ver2.1

1. 初期画面

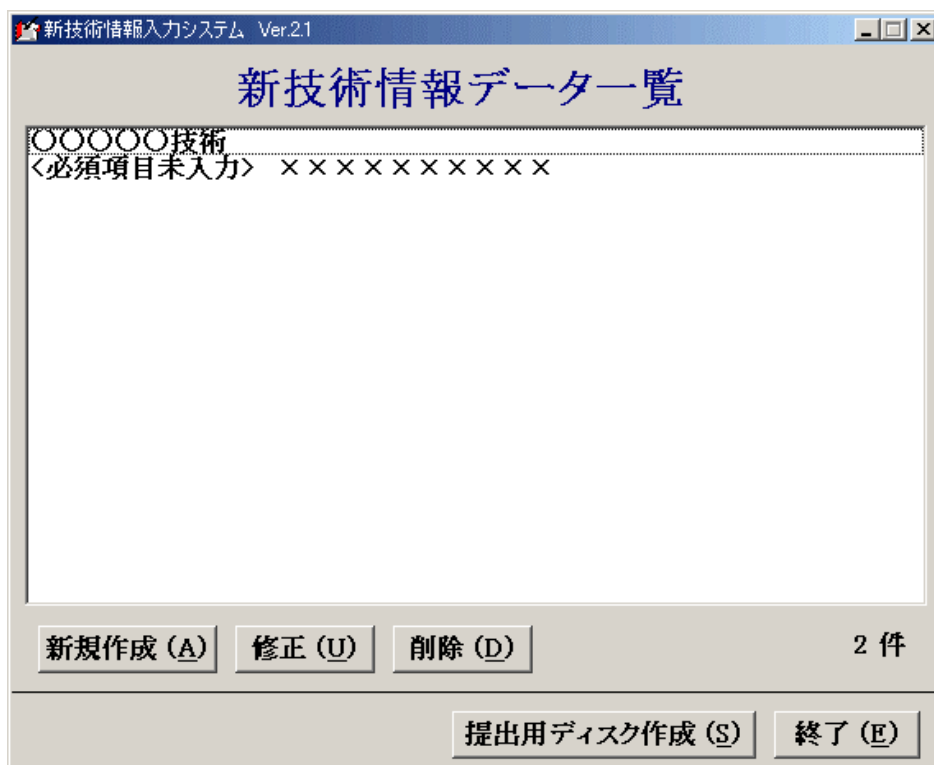


新技術情報入力システムへ

ボタン

メニュー画面に移動します

2. メニュー画面



(1) 新規に作成する場合

新規作成 を押す。

3. 入力画面以下の作業を行う。(p 5 ~ p 19 参照)

入力作業後データの書き込み ボタンを押す。

初期画面に戻るためには、初期画面 ボタンを押す。

提出用ディスクを作成するには、提出用ディスク作成 ボタンを押す。

終了するには、終了 ボタンを押す。

(2) 登録したデータを修正する場合

修正する技術名称レコードを選択する。

修正 ボタンを押す。

修正 ボタンをクリックした時、レコードが選択されていないとエラーメッセージが表示されます。

修正箇所を訂正する。

修正後、書き込み ボタンを押す。

初期画面に戻るためには、初期画面 ボタンを押す。

提出用ディスクを作成するには、提出用ディスク作成 ボタンを押す。

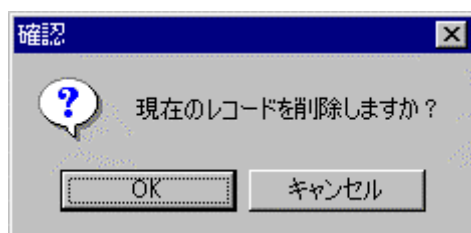
終了するには、終了 ボタンを押す。

(3)登録したデータを削除する場合。

削除したい技術名称レコードを選択する。

ボタンを押す。

削除したいレコードを選択して、 ボタンをクリックすると、下記のように確認のメッセージが表示されます。



終了するには ボタンを押す。

(4)解説

ファイルが存在していれば、技術名称がリストに表示されます。また、保存されている件数が表示されます。

登録されているデータで、必須項目に未入力の項目があると、技術名称の前に < 必須項目未入力 > と表示されます。

< 必須項目未入力 > と表示されたファイルからは提出ディスクの作成できませんので、修正処理で修正してください。

編集、削除、提出用ディスク作成ボタンは、ファイルが存在する場合のみ使用することができます。

ボタン

新しくレコードを追加します

ボタン

既に保存されているレコードを編集します

ボタン

レコードを削除します

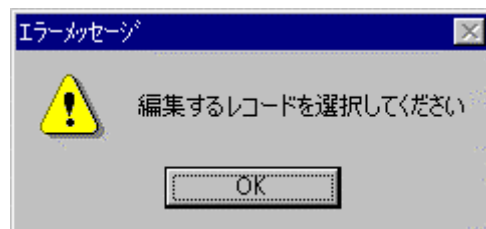
ボタン

提出用ディスクを作成します

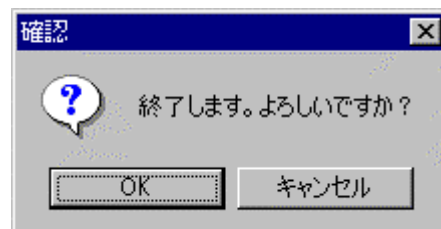
ボタン

プログラムを終了します

修正 ボタンまたは **削除** ボタンをクリックしたとき、レコードが選択されていないとエラーメッセージが表示されます。



終了 ボタンをクリックしたとき、下記のように確認のメッセージが表示されます。



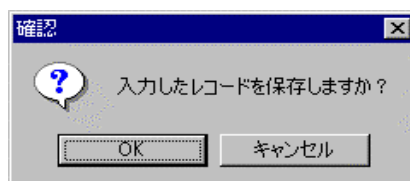
OK ボタンをクリックすると、プログラムが終了します。

3. 入力画面

(1) ボタン名称の解説

書き込み ボタン

新規に入力したレコードの保存、あるいは修正したレコードを保存します。
書き込みボタンをクリックすると、下記のように確認のメッセージが表示されます。
また、新規入力で何か入力してある時に初期画面ボタンをクリックすると、同様のメッセージが表示されます。



OK ボタンをクリックしたとき、必須入力部分を入力していない場合、下記のようにエラーが表示されます。必須入力部分は必ず入力して下さい。



全クリア ボタン

入力された項目の内容をすべてクリアします

印刷	ボタン	入力したレコードを印刷します
プリンタ設定	ボタン	出力するプリンタの設定をします
初期画面	ボタン	メニュー画面に戻ります

(2)項目の解説「名称」

高速道路(株)提出後の取り扱い

高速道路(株)提出後の取り扱いについて該当するものを選択（チェック）します。

技術名称（必須）

申請される新技術の工法名または、製品名を全て 2 バイト文字で入力します。

日本語 20 文字以内

技術副題

名称において固有の工法名または、製品名等を入力した場合、その技術の用途等を明確にした副題をすべて 2 バイト文字で入力します。

日本語 20 文字以内

作成年月日（必須）

本記入表を作成した年月日を西暦で入力します。

英数字 8 桁（例：19980101）

技術開発年（必須）

申請技術の公表された年、または現場適応可能となった年あるいは改良された年を西暦で入力します。

英数字 4 桁（例：1997）

分野（必須）

該当する分野を選択（チェック）します。（複数選択可能）

分野 2（必須）

「共通」、「道路」のどちらかを選択（チェック）します。

区分（必須）

該当する区分を選択（チェック）します。

分類（必須）

対象項目を選択し、プルダウンメニューから該当する項目を選択します。

(3)項目の解説「開発」

The screenshot shows a software window titled '新技術情報入力システム Ver.2.1'. The window has several tabs: '名称', '開発', '概要', '適用条件', '実績', '特許・評価', 'キーワード', and '活用の効果'. The '開発' (Development) tab is active. It contains several sections:

- 開発体制** (Development System): A group of radio buttons for selecting the development system: '単独' (Selected), '民・民共同', '民・官共同', '民・学共同', and '官・官共同'.
- 開発会社名** (Development Company Name): A text input field containing '〇〇研究'.
- 共同開発社** (Joint Development Company): Three empty text input fields.
- 問合せ先** (Contact Information): A section with multiple input fields:
 - 会社名** (Company Name): '〇〇研究'
 - 部署** (Department): Empty
 - TEL** (Telephone): '03-1111-2222', **FAX** (Fax): '03-2222-1111' (with a red note: '<TEL・FAX 例：03-****-****>')
 - 担当者名** (Responsible Person): '〇〇〇', **E-mail**: Empty
 - 郵便番号** (Postal Code): '1111-222' (with a red note: '<半角入力 例：123-4567>')
 - 住所** (Address): '東京都町田市〇〇1-3-2'

At the bottom of the window, there are five buttons: '書き込み (G)', '全クリア (C)', '印刷 (P)', 'プリント設定 (S)', and '初期画面 (R)'.

開発体制（必須）

該当する開発体制を選択（チェック）します。

開発会社名（必須）

申請技術を開発した会社名を入力します。

入力はすべて2バイト文字とし、株式会社は（株）、有限会社は（有）とします。
また、独自に作成した特殊文字は使用しないでください。

日本語 20文字以内

共同開発社名（開発体制で単独以外を選択した場合必須）

共同開発を行なった機関の名称を全て2バイト文字で入力します。

但し、3社を超える場合は、代表の会社名を入力します。

日本語 20文字以内

問合せ先

申請技術に対して、その内容および技術的対応が可能な会社名等を入力します。

担当者及びメールアドレスについては、3項目まで入力可能です。

TEL、FAX 及び郵便番号については、ハイフン (-) を含めて入力します。

会社名	日本語	20 文字以内	(必須)
部署	日本語	10 文字以内	
TEL	英数字	13 桁	(必須)
FAX	英数字	13 桁	
担当者名	日本語	10 文字以内	(1 名は必須)
E-mail	英数字	40 桁以内	
郵便番号	英数字	8 桁	(必須)
住所	日本語	40 文字以内	(必須)

(4)項目の解説「概要」

概要

申請技術の概要について、全て2バイト文字で入力します。

日本語 400文字以内

写真や図等がある場合、200KB以内のJPG形式に変換し貼付します。(1枚のみ)

写真や図については印刷時に10cm×15cm以下となるようにして下さい。

横幅が600ピクセルを超えたファイルは添付できません。

特徴

申請技術の特徴とし、開発目標に対して期待できる効果をまとめ、全て2バイト文字で入力します。

日本語 500文字以内

写真や図等がある場合、200KB以内のJPG形式に変換し貼付します。(1枚のみ)

写真や図については印刷時に10cm×15cm以下となるようにして下さい。

横幅が600ピクセルを超えたファイルは添付できません。

施工方法

申請技術の施工方法について、全て2バイト文字で入力します。

日本語 500文字以内

写真や図等がある場合、200KB以内のJPG形式に変換し貼付します。(1枚のみ)

写真や図については印刷時に10cm×15cm以下となるようにして下さい。

横幅が600ピクセルを超えたファイルは添付できません。

単価

申請技術の一般的な施工情報で、標準的な規模で施工あるいは使用した場合の単価、単位等を全て2バイト文字で入力します。

日本語 500文字以内

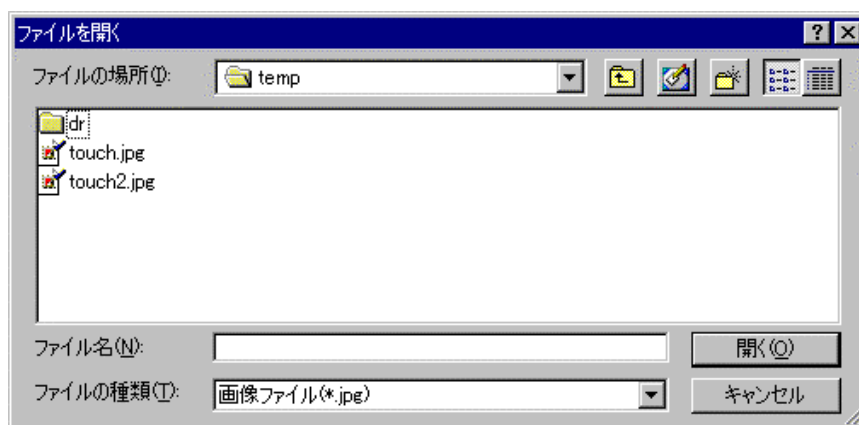
写真や図等がある場合、200KB以内のJPG形式に変換し貼付します。(1枚のみ)

写真や図については印刷時に10cm×15cm以下となるようにして下さい。

横幅が600ピクセルを超えたファイルは添付できません。

写真等添付ファイル

選択ボタンをクリックすると下記のような表示がされるので、貼付したい画像ファイル(*.jpg)を選択します。



画像ファイルを指定すると、イメージ表示のボタンが使用できるようになります。イメージ表示ボタンをクリックすると、添付ファイルのイメージの確認が行えます。画像ファイルを指定しないと、**イメージ表示** ボタンは有効になりません。

参照：(9)画像イメージ表示画面

(5)項目の解説「適用条件」

The screenshot shows a software window titled '新技術情報入力システム Ver.2.1'. It has a tabbed interface with the following tabs: 名称, 開発, 概要, 適用条件 (selected), 実績, 特許・評価, キーワード, and 活用の効果. The '適用条件' tab contains the following sections:

- 適用条件**: A text input field with a character count of 500.
- 留意点**: A text input field with a character count of 500.
- 今後の課題と開発計画**: A text input field with a character count of 500.
- 実験等実施状況**: A text input field with a character count of 500, a file upload field labeled '写真等添付ファイル', a 'クリア' button, and a '選択' button.
- 参考文献**: A text input field with a character count of 500.

At the bottom of the window, there are buttons for '書き込み (G)', '全クリア (C)', '印刷 (P)', 'プリント設定 (S)', and '初期画面 (R)'. There is also an 'イメージ表示' button next to the '実験等実施状況' field.

適用条件

申請技術の施工あるいは使用にあたって、特に注意する点（現場の条件等）を全て2バイト文字で入力します。

日本語 500文字以内

留意点

申請技術の施工あるいは使用にあたっての留意点を全て2バイト文字で入力します。

日本語 500文字以内

今後の課題と開発計画

申請技術の今後の課題及び今後の開発、改善目標について全て2バイト文字で入力します。

日本語 500文字以内

実験等実施状況

申請技術に対して、実験等実施の有無及び実施内容について全て2バイト文字で入力します。

日本語 500 文字以内

写真や図等がある場合、200KB 以内の JPG 形式に変換し貼付します。(1 枚のみ)

写真や図については印刷時に 10 cm × 15 cm 以下となるようにして下さい。

横幅が 600 ピクセルを超えたファイルは添付できません。

参考文献

申請技術について掲載している文献があれば、その代表的な文献名、著者名、発行年月日、出版社名を全て 2 バイト文字で入力します。

日本語 500 文字以内

(6) 項目の解説「実績」

実績件数及び内容

申請技術の実績件数を入力し、代表的 (5 件以内) の工事件名、実施時期等をすべて 2 バイト文字で入力します。

高速道路(株)	件数	数字	3 桁
	名称	日本語	50 文字以内
その他公共機関	件数	数字	3 桁
	名称	日本語	50 文字以内

	年月日	英数字	8桁(例:19981224)
	証明機関	日本語	20文字以内
その他制度等による証明	名称	日本語	20文字以内
	番号	日本語	20文字以内
	評価年月日	英数字	8桁(例:19981224)
	評価機関名称	日本語	20文字以内
	評価範囲	日本語	20文字以内

、が無い場合は、無記入で構いません。

(8)項目の解説「キーワード」

キーワード(選択又は自由記入のどちらか必須)

申請技術を表すキーワードとして、該当する項目を選択(チェック)します。(複数選択可能)自由記入欄には、その技術を端的に表現するキーワードを全て2バイト文字で入力します。

日本語 10文字以内

開発目標（必須）

申請技術の開発目標のうち該当するものを選択(チェック)します。(複数選択可能)

(9)項目の解説「活用の効果」

活用の効果

比較の対象となる従来技術名（なるべく貴社保有の従来技術とし、無い場合は高速道路(株)で標準的に使用されている技術）を挙げ、その技術と比較して、各項目の効果を選択します。

また、「工程」「省人化」「経済性」については、定量的に表現できる場合、その比率（％）を入力します。概算の数値でも構いません。

各項目の備考には、従来技術と比較した結果、何が向上したか、何が低下したか等を具体的に全て 2 バイトの文字で入力します。

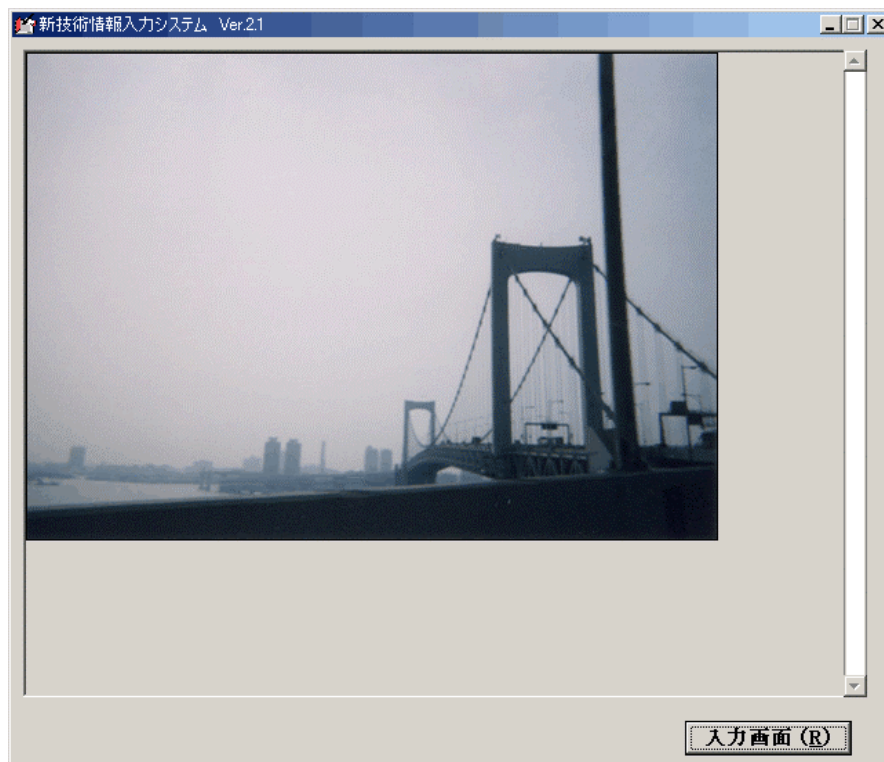
その他には、上記以外で従来技術と比較し、特筆すべき項目等があれば全て 2 バイトの文字で入力します。申請技術を補足する写真及び図等がある場合、200KB 以内の JPG 形式に変換し添付します。（1 枚のみ）

写真や図については印刷時に 1 0 cm × 1 5 cm 以下となるようにして下さい。

横幅が 600 ピクセルを超えたファイルは添付できません。

従来技術名		日本語 20 文字以内
工程	効果率	数字 3 桁
	備考	日本語 100 文字以内
省人化	効果率	数字 3 桁
	備考	日本語 100 文字以内
経済性	効果率	数字 3 桁
	備考	日本語 100 文字以内
施工管理	備考	日本語 100 文字以内
安全性	備考	日本語 100 文字以内
施工性	備考	日本語 100 文字以内
環境	備考	日本語 100 文字以内
汎用性	備考	日本語 100 文字以内
品質	備考	日本語 100 文字以内
その他	備考	日本語 100 文字以内
その他写真・図面等		写真や図等がある場合、 <u>200KB 以内の JPG 形式に変換し貼付します。(1 枚のみ)</u> <u>写真や図については印刷時に 1.0 cm × 1.5 cm 以下となるようにして下さい。</u> <u>横幅が 600 ピクセルを超えたファイルは添付できません。</u>

(10)画像イメージ表示画面



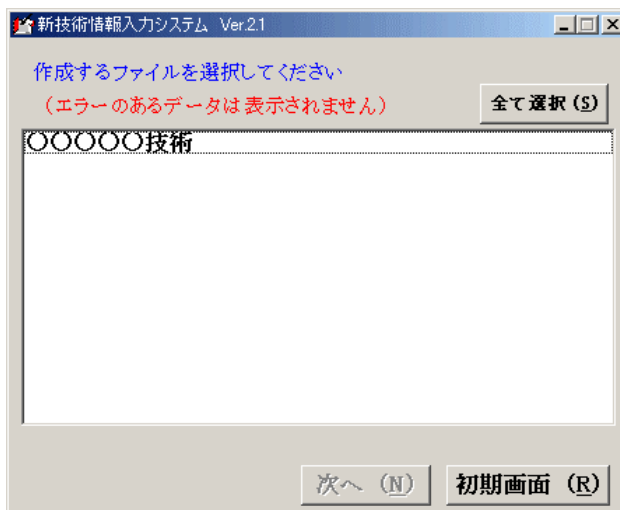
画像ファイルを選択し、イメージ表示のボタンをクリックするとこの画面が表示され、画像を見ることができます。

ボタン

入力画面に戻ります

4. 提出用ファイル作成

(1) 提出用ファイル選択画面

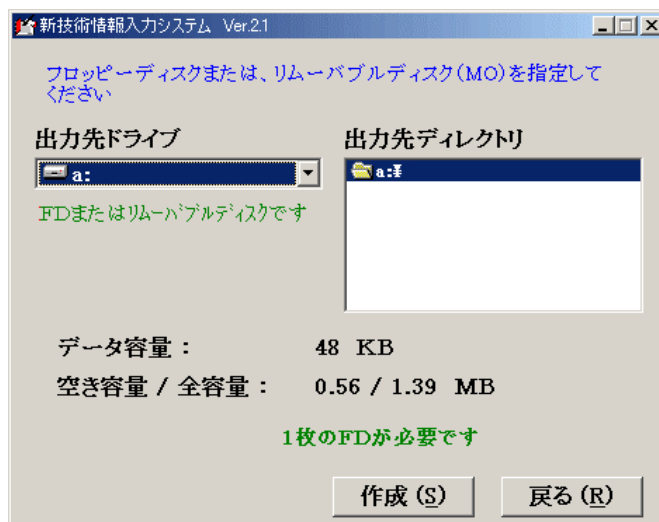


ファイルを作成するレコードを選択して、**次へ** ボタンをクリックします。(レコードは複数選択できます。)

必須項目未入力の場合はここでは表示されません。

次へ ボタン	提出用ディスクを作成します
初期画面 ボタン	メニュー画面に戻ります

(2) 提出用ディスクの作成画面



出力先ドライブをプルダウンメニューから選択し、出力先のフォルダを指定して、ディスクを作成します。

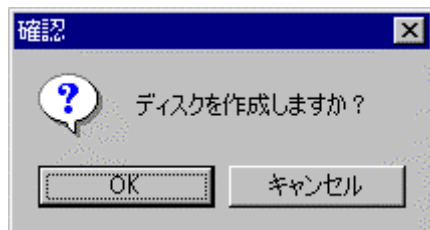
メニュー画面で選択されたレコードのデータ容量、出力先のドライブの空き容量 / 全容

量が表示されます。

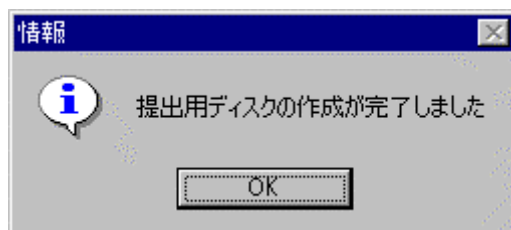
出力先のドライブを指定して作成ボタンをクリックします。

<input type="button" value="作成"/>	ボタン	ディスクの作成を行ないます
<input type="button" value="戻る"/>	ボタン	提出用ディスク作成画面に戻ります

作成ボタンをクリックと、下記のように確認のメッセージが表示されます。



ディスクに保存し終わると、下記のように終了したことを伝えるメッセージが表示されます。



5 . 提出先

提出用ディスクには、ラベルを貼り会社名、担当者名、連絡先を明記して下さい。
また、様式 - 1 を郵送あるいは持参により必ず提出願います。

株式会社 高速道路総合技術研究所
研究企画部 経営企画課 新技術・新工法係
〒194-8508
東京都町田市忠生 1 - 4 - 1
電話 : 042-791-1621 F A X : 042-791-3717
E-M a i l : new-tech@ri-nexco.co.jp

6 . e - m a i l による提出

e - m a i l で提出したい場合には次のように送付してください。

提出用ディスクを作成後、ディスク内のファイルを添付ファイルとして e - m a i l を送ります。

作成された提出用ディスクの内容



SinData.rnd (新技術情報データ)

添付の画像ファイル

複数データを指定して提出用ディスクを作成した場合には各データ毎に技術名称でフォルダが作成され、この中にデータが保存されます。

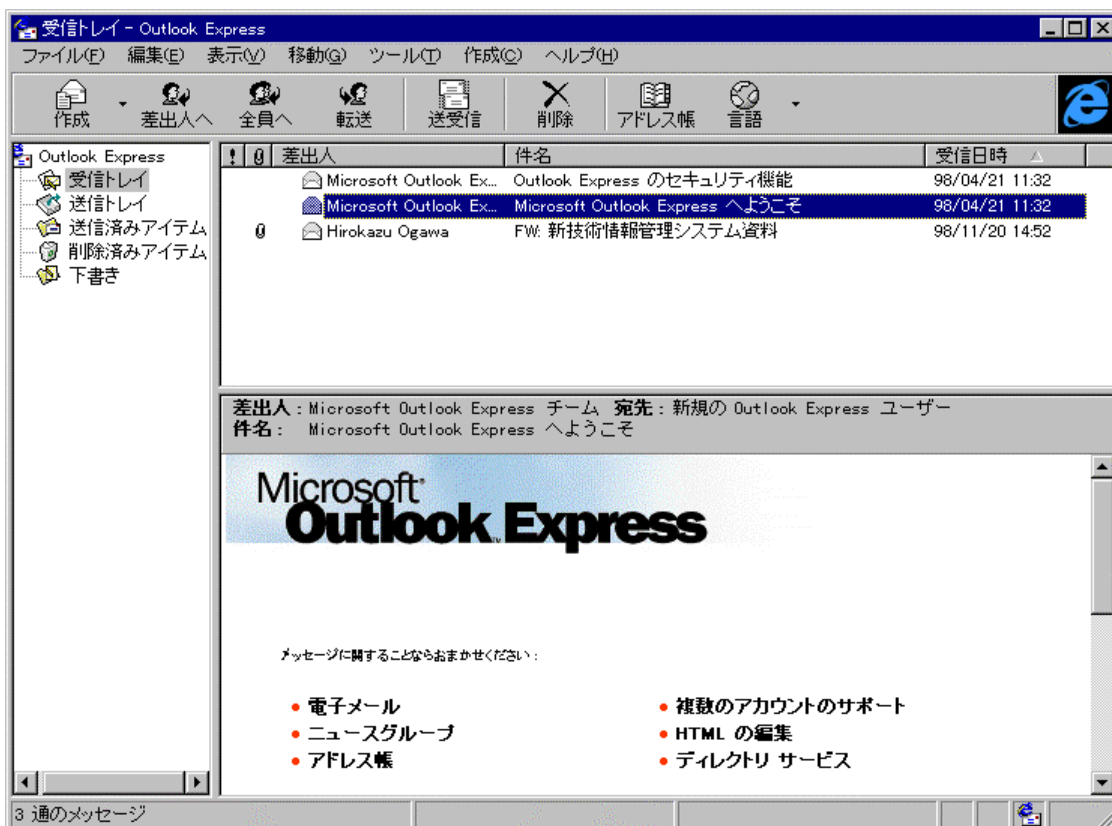
提出用ディスク内のファイルをすべて添付ファイルとして送付してください。

ここでは Outlook Express を例として e-mail での送付の方法を説明します。

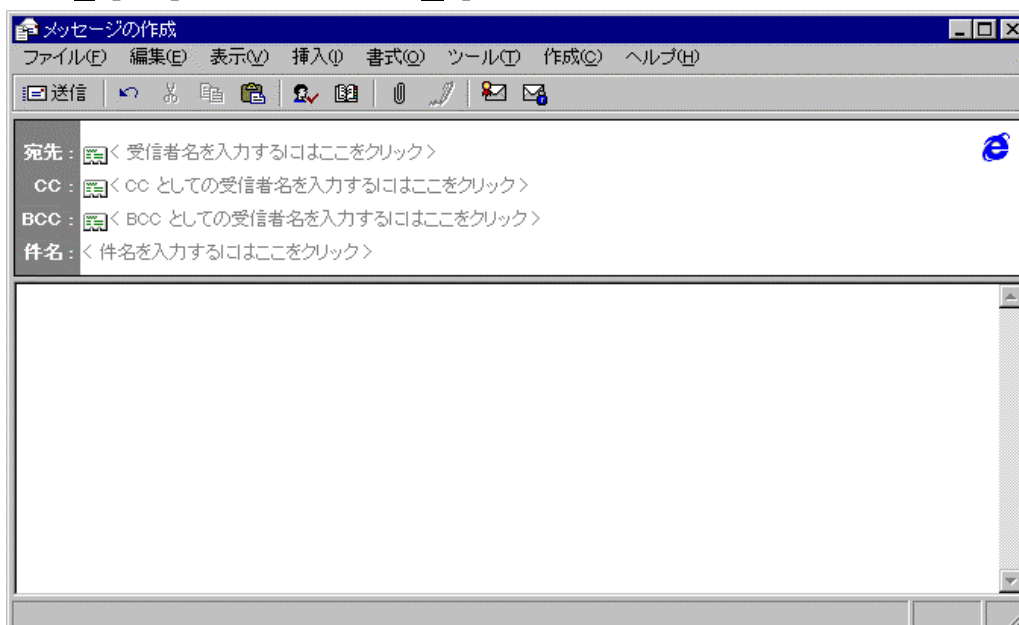
その他のメールソフトでの添付ファイルの送り方については、各メールソフトのマニュアルをご覧ください。

Outlook Express での添付ファイルの送付手順（例）

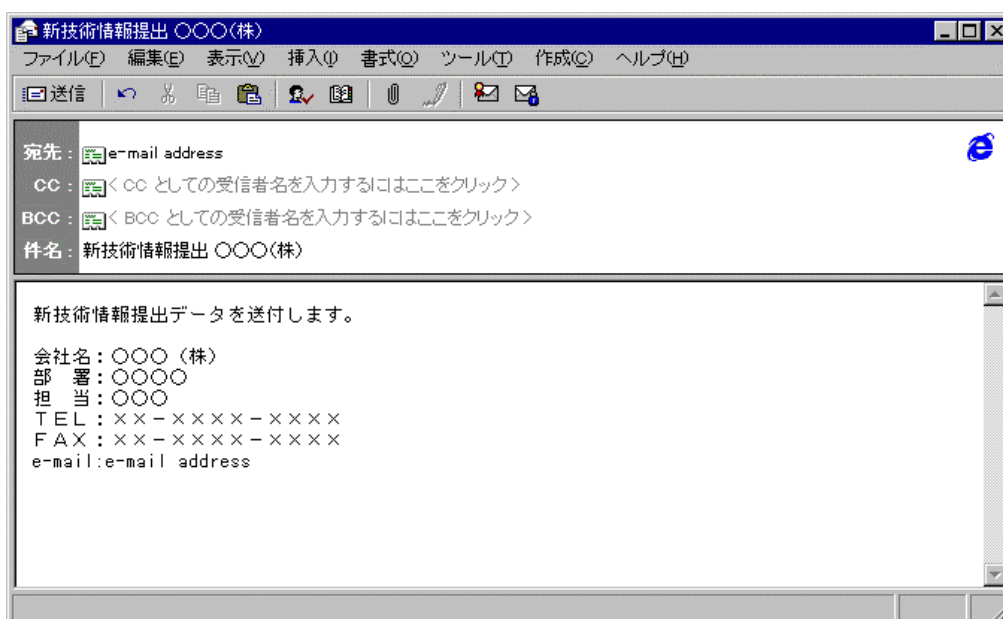
Outlook Express を起動します。



[作成(C)] - [メッセージの作成(N)] を選択します。



宛先に e - m a i l のアドレスを指定し、件名と新技術情報を提出する旨を書き込みます。

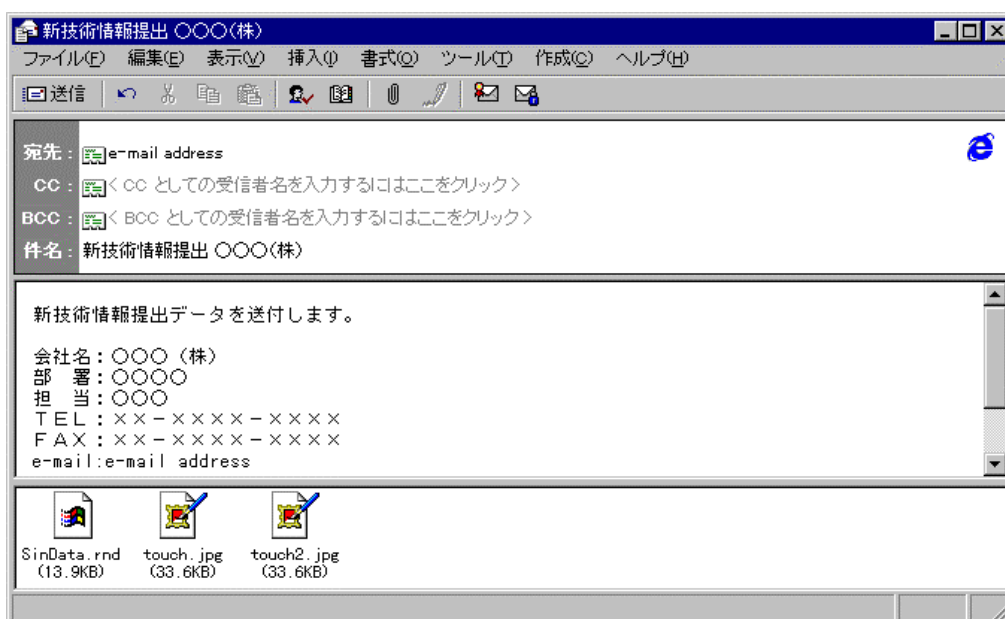


[挿入(I)] - [添付ファイル(A)] を選択し、ファイルの場所に提出用ディスクを指定し、添付(A) ボタンを押します。



複数のファイルを添付するには、同じ作業を繰り返します。

提出用ディスク内のすべてのファイルを添付し終わったら、[ファイル(F)] - [送信(E)]
を選択して、送信します。



取扱注意

平成 年 月 日

株式会社 高速道路総合技術研究所
研究企画部 経営企画課 殿

新技術情報の外部への提供の確認について

当社の提案する新技術情報の東・中・西日本高速道路株式会社へ提出後の取り扱いについて、高速道路株式会社から外部への提出に関する許可は下記のとおりとします。

記

- 東・中・西高速道路(株)3社の内部資料のみで利用することを許可する。
- 広く一般に広報することを許可する。

新技術名称：_____

会社名：_____ 印（公印）

担当者名：_____ 印

以上